

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

2013

4月号

Vol.191

毎月1日発行

杜の伝言板

ゆるる

災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

赤い羽根「災害ボランティア・
NPO活動サポート募金」助成事業



いきいきのびのび
できる
デイサービス営業中!

特集
復興への
道

- 3.11 from KANSAI
- NPO法人なでしこ
- NPO法人まなびのたねネットワーク
- NPO法人みなとまちセラミカ工房
- 一般社団法人パーソナルサポートセンター



震災から2年を迎えて

二〇一三年三月、あの東日本大震災から二年が経ちました。被災地からがれきはなくなり、被災者たちも「仮のものとはいえ、日常を取り戻しつつあります。ただし、それに比例して被災地に関する報道は少なくなってきたいます。『いかに震災を風化させないか』という問いは、これから被災地支援を考える際に必須のテーマとなります。

この二年というものの、NPOは地道に被災地の復興に貢献してきました。緊急物資支援に始まり、がれき撤去、見守り、自立支援などなど。NPO法人杜の伝言板ゆるる(以下、ゆるる)では一昨年四月以降『月刊杜の伝言板ゆるる』の中で毎月、『復興への道』と題し、震災に立ち向かうNPOの姿を紹介し続けてきました。

また、昨年、今年と『復興ingのみやぎwith NPO』という冊子を制作し、宮城県内で活動するNPOを広く県外に発信しています。昨年の『復興ingのみやぎwith NPO』では掲載団体数が二十でしたが、今年は四十二団体を掲載し、内容も新たに取材を加えアップデートしています。

ゆるるでは、震災から二年という節目を迎えるこの時期、全国各地で行われる復興イベントに参加し、『復興ingのみやぎwith NPO』を配布しながら「宮城県のNPOを支援することとが宮城県の復興につながる」とい

うことを訴えています。

3.11 from KANSAIに参加

そんなイベントの一つが、三月十日に大阪市の梅田スカイビルで開催された「3.11 from KANSAI」。社会福祉法人大阪ボランティア協会を事務局として、昨年から継続して行われているイベントで、ゆるるも昨年に引き続きの参加です。

ゆるるでは『復興ingのみやぎwith NPO』の配布とNPO法人二十世紀アーカイブ仙台制作のポスター展示の企画で参加。このポスターは二十世紀アーカイブ仙台が実施している「3.11定点観測アーカイブ・プロジェクト」で制作されたもので、被災地の当時と現在が対比されています。



▲ゆるるブースで被災地の手づくり品を吟味する参加者

また、今年はみやぎ連携復興センターが取りまとめた被災地住民による手づくり品の展示も同時実施しました。

イベントは梅田スカイビル内数か所を会場に行われました。メイン会場はタワーイーストとタワーウエストのあいだの吹き抜けスペース「ワンダースクエア」で、ゆるるを含む二十七のブースが出版され、立ち寄った人々は個々のブースが提供する飲食物を味わったり、被災地関連の商品を購入したりと興味深げに会場を巡っていました。

タワーウエスト三十六階では「避難者のつどい」「避難者支援」シンポジウムといった関西圏への避難者向けプログラムや支援組織向け・学生向けのプログラムが催されました。

被災地の状況が知りたい

ゆるるのブースを訪れた人の中には、過去に宮城県を観光で訪れたことがあったり、支援で入ったことがあったり、あるいは、これから宮城県を訪問しようとしている人が多くいました。そういった人々が気にしているのは、やはり被災地の現状。ブースには交通網の復旧具合や復興商店街の場所などの質問が寄せられました。なかには「原発のニュースは毎日やってるけど、気仙沼や石巻

のニュースはほとんどやらないからわからない」という言葉も。被災地報道の優先度の低さを改めて実感することになりました。

ただ、被災地のことを気に掛けながらも現地の情報が少ないために行動に移せない、潜在的な支援者がいることがわかったことは少なくない収穫です。同時にその潜在的な支援者といかに被災地の情報を共有していくかという課題も見えました。

今回のブース出版では、昨年同様大阪ボランティア協会を通じて、ボランティアスタッフがゆるるを手伝ってくれました。当日はあいにくにも強風が吹き荒れ、雨も降るという天候でしたが、五名のボランティアスタッフがめげずに『復興360みやぎNPO』を配ってくれました。おかげで七〇〇部持ち込んだうちの



▲みやぎのNPOの頑張りを伝えてくれたボランティアスタッフ

六〇〇部以上を手渡しで配ることができました。ボランティアスタッフの方々は全員普段は企業に勤めている方ばかり。貴重な休日をゆるるのため、宮城のために割いて頂いたことにこの場を借りて感謝の意を表させて頂きます。

震災を経験した地域どうし

イベントを終えて、実行委員長を務めた認定NPO法人日本NPOセクター代表理事兼大阪ボランティア協会常務理事の早瀬昇さんはこう言います。

「関西の人たちは阪神淡路大震災の経験から震災の大変さを知っています。ただ、関西から被災地に向けてどうしてもいいかがわからない人が多いのです。その意味でこのイベントを今年もやれたことは大変良かったと思います。ただし、from KANSAIはもろんのこと、関西圏への避難者サポートなどfrom KANSAIの問題にも目を向けていかなければなりません。これは次回に向けて今日から考えていきたいと思っています」

イベントでは避難者向けのプログラムがあったこともあり、会場には多くの県外避難者の方がいました。被災地である東北・宮城県から見ると、どうしても関西支援する側という構図で考えてしまいがちになり



▲ボランティアスタッフ(ベスト着用)を交えた記念撮影

ます。しかし、関西には関西で、被災地で暮らす人々同様につらい思いをしている当事者がいます。これは宮城で活動している私たちには、今までなかなか見えていなかった部分かもしれません。

今震災から立ち直ろうとしている、宮城、東日本。かつて同じように震災に遭い、立ち直ってきた関西。今回のイベントを通じて改めて確認することができた両者のつながりを、今後もより強固なものとし、被災地の未来のため、お互いの経験、知見を共有していければと思います。

3.11 from KANSAI実行委員会
(事務局：(社福)大阪ボランティア協会)

●TEL：06-6465-8391

●URL：<http://www.311-kansai.com/>

利用者本位のサービスをするために

●NPO法人なでしこ

NPO法人なでしこは、岩沼で「通所介護施設事業」と「サロン事業」を中心に活動している団体です。副理事長の八巻周子さんは元々、岩沼市内にある社会福祉法人で経営しているデイサービスセンターに勤務していました。三十五名規模と十名規模の二つの施設を管理していました。

二〇一一年三月十一日の震災時は、海岸から二〇メートルほど離れた施設で利用者の方と一緒に震災を迎えました。四十五分と短い時間の間に利用者を全員仙台空港へ避難させ無事でしたが、施設は津波で全壊しました。

再開はNPO法人として

残念ながら、当時勤務していた法人でのデイサービス施設の再建はなかなか進まず中断状況でした。利用者の家族から再三「何とかならないのか」「デイサービスの再開はいつになるのか」と聞かれる日々が続きました。「利用者の方の大半は仮設住宅での生活に苦労されていました。

何とかしてあげたいとの思いでした」と八巻さんは自らデイサービスを立ち上げようと考えてようになりました。

新たなデイサービスを立ち上げるにあたっては、NPO法人を選択。社会福祉法人立ち上げには一〇〇〇万円の資金が必要でしたが、地域で高まるニーズを前に、その金額を用意している余裕はありませんでした。二〇一一年八月には、施設用の建物として農家を借りることができました。内装など手を加えて準備を進め、昨年四月一日にNPO法人なでしこ(以下なでしこ)として念願の事業開始となったのです。

細かいところまで手が届くサービス

なでしこが運営するデイサービスセンターなでしこは、緑に囲まれ、田んぼや畑の様子で季節が感じられる環境にあります。農家を改築した家庭的で温かな雰囲気のある室内で通所介護を月々土曜に営業しています。なでしこには日課表がありません。



▲デイサービスセンターなでしこのスタッフの皆さん

ん。天気の良い日は畑に出て野菜の収穫や草取り、その日その日の状況に応じた柔軟な対応を取ることができま。なでしことしてやりたかったことは、少人数(二十名)に目配りのきいたサービスを提供すること。そのため、スタッフは六名も揃えています。昨年十月には利用者数が目標としていた十名に達し、現在では十二名の方が利用しています。

八巻さんは実際にNPO法人として事業を始めてみて、社会福祉法人の時の違いを感じています。利用者には認知症を抱えているとはいえ体力は十分にある若い年齢層の方が増えてきているようです。このような若い年齢層の方々は大きな施設よりもこじんまりとした施設の方がなじめるのかもしれないと八巻さんは考えています。

なでしこでは、地域の方々向けの

お茶のみ会も開催しています。これは、事業を始めるにあたり、地域住民に内覧会を開催したところ、「お茶飲み会をやってほしい」との声が上がったことから、二か月に一回のペースで開いているものです。地域とのコミュニケーションを図るだけでなく、介護保険制度・福祉用具の正しい選び方等、介護に関する講座も開催し、勉強会としての側面もあります。

時代の流れに対応した小規模のデイサービス

「デイサービスセンターなでしこはアットホームで自分たちの持ち味を発揮できる場。このような施設が町の中にたくさんできればいいなと思っています。そのためには職員も教育を更に図り、ゆくゆくは独り立ちさせたい。在宅高齢者をできるだけ住み慣れた地域で住み慣れた環境のもと介護を行うために、新たに小規模デイサービスも始めたい」と八巻さんは事業拡大にも積極的です。まずは今年四月からは居宅支援事業をスタートさせ、在宅支援の幅を広げます。

NPO法人なでしこ

〒989-2471 岩沼市小川字莊司4

●TEL: 0223-35-6279

●FAX: 0223-35-6280

子どもたちの豊かな 学びを育むために

● NPO法人まなびのたねネットワーク

「一人一人が自分らしく未来を切り拓くために」をスローガンに、子どもと大人のための自分づくりを応援する団体が、NPO法人まなびのたねネットワーク（以下、まなびのたね）です。

NPO法人化した二〇〇八年から現在まで、学校教育と社会教育支援を通して青少年育成と、市民が育つ地域社会づくりに寄与することを目的に、宮城県内の小中学校や地域で出前講座の開催や子どもたちの考えを引き出すための専門性を持ったファシリテーターや、キャリア教育コーディネーターの育成を進めています。

体験から学ぶ

二〇一〇年からは自然体験プログラムを開始しました。これは浦戸諸島の桂島で牡蠣養殖を体験するもの。宮城の第一次産業である漁業に触れる機会が少ないことに疑問を感じたことから始めました。

二〇一一年三月十一日に東日本大



▲防災教育ワークショップで津波を想定して避難する参加者

震災が発生。すぐに自然体験プログラムの協力関係者の無事は確認したものの、物資が足りないとの報告を受け、必要な物資を届けることになりました。桂島に入ることができたのは、四月半ば。そこで、まなびのたね代表の伊勢みゆきさんと、事務局長の田中聡子さんが知ったのは、甚大な津波被害に遭いながらも、共助で島民全員が助かり、役割を分担しながら避難所を運営する島民のきずなの深さでした。

『この島から学ぶべきことがある』自然体験と合わせて桂島で防災教育ワークショップを実施することに。

自然体験の協力者でもある漁師の方々は島の消防団員も務めており、防災教育では体験談を話してもらいました。

昨年三月に桂島で開催されたワークショップには、仙台市や浦戸諸島の小学生たちが参加。実際に大津波警報が出たことを想定し、自分の判断で逃げ、災害に遭遇した際、自分たちがすべき行動は何かを子どもたちが考えました。

参加した小学生は「安全だと思って逃げたけど、三月十一日だったらその場所では命が助からなかったと避難の難しさを実感していました。

八月にも同様のプログラムが開催され、兵庫県立大学防災教育センターの協力で、同大学の学生も参加しました。学生たちは、この体験プログラムを持ち帰り、兵庫県で小学生たちと、発災したときには、どう対処するか考えるワークショップを開催しました。宮城県以外にも、災害への備えが広がっています。

震災が発生したことで、人口が流失し観光客も減少した桂島。「体験学習を通して桂島に関心を持ち、島民と交流する機会にもなれば」と、田中さん。

団体が持つ強みをいかす

まなびのたねと桂島の漁師の方々の関係は、防災教育ワークショップ

や自然体験プログラムでの協力だけにはとどまりません。まなびのたねは養殖に使うペットボトルを集めたり、養殖作業や島の夏祭りなどのイベントのボランティアを募ったりと支援を続けています。

このように一度関わりを持った人々とその後も良好な関係を維持していくことは、各地の教育現場に入り、人と人をつないできたまなびのたねの大事にしている姿勢であり、強みでもあります。

「その時その時で相手もニーズも変わります。それに合わせた支援やプログラムを考えるのがコーディネーターの仕事。相手の状況や思いをくみ取り、NPOらしく柔軟に取り組みんでいきたい」と、伊勢さん。

いずれ島民の皆さんが主体となって動けるような仕組みづくりとサポートを長いスパンで考えています。

これから
も、地域と
子どもとを
つなぎ、一
人一人が花
を咲かせら
れるよう、
学びのたね
まきを続け
ていきま
す。

NPO法人まなびのたねネットワーク

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-3-12
大町マンション902号室
●TEL：090-1376-3572(団体携帯)
●FAX：022-398-7129
●E-mail：info@manabinotane.net
●URL：http://www.manabinotane.net/

スペインタイルを

女川復興のシンボルに！

● NPO法人みなとまちセラミカ工房

女川高等学校のグラウンドにある「ぎぼうのかね商店街」の一角に、明るい色調の看板が掲げられたタイル工房があります。工房内では、NPO法人みなとまちセラミカ工房の女性スタッフ数人が、真剣なまなざしでタイルの絵付けをしています。

陶芸で心安らぐひとときを

代表の阿部鳴美さんは、震災で自宅が津波で流され、避難生活を余儀なくされました。震災前は町内で陶芸サークルを主宰していましたが、震災後は活動ができず、阿部さんはサークルの解散も考えていました。

二〇一一年九月、サークル仲間と集まり活動休止を決めた直後、復興イベントで陶芸体験教室を行ってくれないかという依頼が入ります。そこでサークルのメンバーに声を掛け、陶芸教室を行うことになりました。被災地では、陶芸のような心が癒されるような活動が求められていたのです。

そのイベントへの参加をきっかけに

阿部さんとサークルのその後を変えるいくつかの出会いがありました。

スペインタイルとの出会い

二〇一一年十月、海外の被災地支援で知られる建築家坂茂さんと出会いました。その際、陶芸サークルの再開を相談したところ、京都造形芸術大学の学長千住博先生を紹介されました。すると十二月、京都造形美術大学から窯を寄付してもらえることが決まりました。

窯を設置できる活動場所を持って



▲工房内で制作中の代表の阿部鳴美さん(右)とスタッフの皆さん

いなかった阿部さんたちは、場所の確保のため、町の生涯学習課をはじめ、あちこちに掛け合います。結果、女川町の復興商店街「ぎぼうのかね商店街」に入居予定だったサッカーチーム、コバルトール女川の事務所、の半分を借りられることとなり、昨年三月末に待望の窯が設置されました。

並行して、町ではスペイン北西部のガリシア地方との異文化交流の話が持ち上がっていました。ガリシア地方は、女川町と地形や人口規模が似ていて、過去に津波から復興した歴史を持つ地域です。阿部さんはその異文化交流を進めていた町復興連絡協議会のメンバーからスペインタイルを紹介されました。その美しさに心を動かされた阿部さんは、内閣府の起業家支援事業の助成を利用して、東京のスペインタイルの絵付け教室に通い、昨年三月には教室主催の視察研修でスペインへ向かいました。「街に溢れる美しいスペインタイルをみて明るい気持ちになり、新しい街のイメージが湧いてきた」と阿部さんは俄然やる気になりました。

女川から新しい文化を

このような準備期間を経て、昨年六月、陶芸サークルの仲間四人にスペインタイルに興味を持って参加

した三人を加え、七人のスタッフでみなとまちセラミカ工房をオープンさせました。工房では、スペインタイルの制作販売と絵付体験、出張陶芸教室などを行っています。女川に新しい文化を根付かせていきたいと、灯台やからくり時計など女川のシンボルやオリジナルの魚のキャラクターをデザインに入れた新しい商品開発にも取り組んでいます。昨年十二月にオープンしたトレーラーハウス「のり」の制作も担当しました。

様々な支援と思いがけない出会いがあつてここまでできましたが、今後は組織としての自立が必要になります。その一歩として今年三月にはNPO法人の認証を受けました。

「多くの人にスペインタイルの素晴らしさを知ってもらうとともに、復興していく新しい街を明るく、女川の新しい魅力にしていきたい」とスタッフの皆さんも希望を胸に制作に励んでいます。

NPO法人みなとまちセラミカ工房

〒986-2231 牡鹿郡女川町浦宿浜字十二神
60-3-12 きぼうのかね商店街
●TEL: 0225-98-7866
●E-mail: ms_cobo@ybb.ne.jp
●URL: <http://ceramika-onagawa.com>

「普通の生活」を

取り戻すお手伝い

●一般社団法人パーソナルサポートセンター

一般社団法人パーソナルサポートセンター(以下、PSC)は二〇一一年三月三日に設立されました。NPO法人ワンファミリー仙台、NPO法人仙台夜まわりグループなど、仙台市内で活動する生活困窮者支援団体が連携し、内閣府が提唱するパーソナル・サポート・サービス(※)を実施したいと考え、PSCを設立したのです。

●●●早期から仮設見守りに着手●●●

設立から八日後に東日本大震災が発生しました。PSCでは震災発生を受けて、まずは二〇一一年六月、仙台市との協働事業として仮設住宅での「安心見守り協働事業」を始めます。これは三月中から策定し仙台市へ提案していた事業プランをより現実合う形に直したものです。

この事業では被災者自身が「絆支援員」として雇用され、仮設住宅や借り上げ住宅(公務員住宅等)へ入居した方の見守りを行います。人件費は国の緊急雇用制度を活用し、現

在では五十一人を雇用しています。

支援員は仮設住宅などを訪問し、住民の話し相手になるだけでなく、入居者の方の状況に応じて専門機関も紹介します。

●●●自立に向けて働く場を●●●

PSCが見守り事業と並行して進めてきたのが被災者の就労支援です。二〇一一年十二月、太白区のアすと長町仮設住宅内にコミュニティ・ワークサロン「えんがわ」をオープンさせました。ここはおしゃべりをしながら軽作業をすることでコミュニティ形成をはかりながら収入を得る機会を提供する中間就労施設です。

また、昨年六月には就労支援相談センター「わっくわあく」を開設。より本格的な就労支援事業を始めます。「わっくわあく」では主に、年齢やスキルなどの理由から既存の就労支援サービスで結果が出せなかった人々を対象としています。

面談で個々の状況を聞き出し、そ



▲中間就労として「わっくわあく」内で行われたリボンレイ作りの様子

れぞれに合ったサポートプランを作成。そして求職者の希望に沿う企業を「企業開拓チーム」が探し出してマッチングを図ります。場合によってはスタッフが本人と一緒に面接に赴くこともあります。さらに、リタイヤする人が出ないよう、求職者と企業に面談や電話で様子を聞き、フォローをしています。

このようなきめ細かい対応によって、今年の三月二十日までに八十五名の方々が「わっくわあく」を通して就職先を見つけています。これは相談に来た人の三割以上です。

●●●被災者支援から困窮者支援へ●●●

PSCのスタッフの多くは被災して失業した人々を緊急雇用で雇い入れています。これらの人々の継続的な雇用も近々の課題です。「自分の雇用が不安定では支援に身が入らなくなり。すると支援される側にとってもいい結果はでないと思います」とPSC常務理事の立岡学さん。

被災者支援とPSCが目指す生活困窮者支援には共通する部分が多くあります。これまでは主に震災の被災者を支援対象に事業を展開してきたPSCですが、今後復興支援が緊急を要するものではなくなった際には、その事業も「平時」の事業へシフトしていくことで現在の雇用も確保できます。

「わっくわあく」は対象を現状の被災者だけでなく、長期的に求職が困難な人々にも広げ、絆支援員は今後復興住宅が整備されていくなかで必要とされるライフサポートアドバイザー(一人暮らしの高齢者などを訪問し安否確認や相談を行なう)へのシフトを検討しています。

PSCの目標は被災支援者が自立した普通の生活を送れるようにすること。すでに見守り事業、就労支援事業を通して数人の被災者を自立させており、行政からも厚い信頼を得ています。これからの日本社会を考えれば、ますますPSCの活躍が期待されるでしょう。

(※既存の社会福祉みでは支援しきれない制度のはざまに苦しむ生活困窮者に対して、「一人一人寄り添いながら包括的、継続的に支援する仕組み

一般社団法人パーソナルサポートセンター

〒980-0802 仙台市青葉区二日町6-6
シャンボール青葉2F

●TEL: 022-399-9662

●FAX: 022-224-1621

●URL: <http://www.personal-support.org>

新しく事務ブースを使用する団体を紹介します!

ARTS for HOPE (アーツフォーホープ)

みやぎ
NPOプラザ

このページは、宮城県からの
NPO関連のお知らせです。

今年四月より、みやぎNPOプラザの事務ブースに新しい団体が入居することになりました。震災を受けて立ち上がった「東日本大震災復興応援アートプロジェクト ARTS for HOPE (アーツフォーホープ)」です。

アーツフォーホープの運営母体となるのは、東京都に本部を置く「ワンダーアートプロダクション」。無機質になりがちな病院をアートによって温もりのある空間に変えていくプログラムや、アートの魅力を今以上に身近に感じてもらおうと、地域の方に実際に創作活動へ参加してもらう機会の提供など、アートの持つ力で社会全体を元気にしていこうとする活動に取り組んでいます。

アートを復興の力へ

元々東北出身であった代表の高橋雅子さんは、東日本大震災の発生直後、すぐに支援活動のため被災地を訪れます。そこで目に飛び込んできたのは、避難所で行き場をなくし、空ろな目をした子どもたちや高齢者の姿。あまりにも凄惨な光景に、一時は自分たちにいったい何ができるのかと無力感を感じていました。しかし、これまで十年以上にわたりワンダーアートプロダクションとして取り組んできた活動が役に立つのではないと思ひ立ち、宮城・福島・岩手の被災三県において被災地支援を行う任意団体「アーツフォーホープ」

を立ち上げるようになりました。アーツフォーホープの被災地における活動は、主に被害の大きかった石巻や気仙沼などの沿岸部にある児童館や仮設住宅、病院などを訪問して行われています。運営母体となるワンダーアートプロダクションの活動から流れを汲んだ内容で、子どもを中心に、障がい者、高齢者を対象に「アート」というコミュニケーションで寄り添い、笑顔を取り戻してもらうことを目的としています。

中でも、子どもたちが手足を筆代わりにして自由に色遊びを楽しむ「ハッピーペインティングプロジェクト」は子どもたちに最も人気のあるプログラム。震災で遊び場を失った子どもたちは思うままに手足を使い、大きなキャンバスの上にのびのびと表現します。昨年五月には、東長町児童館のオーブンペイントとしても行われ、たくさんの子どもが参加、楽しむ姿が見られました。

また、「ハッピードールプロジェクト」は、願いを込めた人形を作るという内容のもので、仮設住宅で暮らす年配の方に好評です。亘理町の復興を想ってイチゴをモチーフに作るおばあちゃん、震災直後の震えるような寒さを思い出し妹のためにと暖かい服を作る少年など、作り手ひとりひとりの思いが込められた人形が作られます。

その他にも、全国の人たちが制作した花のオブジェを使い希望のお花畑を作る「ハッピーフラワープロジェクト」や、被災三県の子どもたちを招待し自然の中でのアートを体験するアートキャンプなど、様々なプログラムを用意しています。



▲子どもたちに大人気のハッピーペインティングプログラム

これまでの二年間の活動記録として撮りためられた写真には、たくさんの方の笑顔があふれています。「表現活動を通して、被災された方の目に失いかけた光が戻る瞬間にも多く立会い、物質的な支援では補うことのできない『心の復興』を支えることができました。極限の状況だからこそ、一時でも不安や悲しみから開放される『生きる』ための表現活動が必要なのです」と高橋さん。被災地の笑顔を取り戻すため、これからも続けていきたいと話します。

五年先、十年先を見据えて

これまで、宮城県には活動拠点がありませんでした。現地スタッフの自宅を物資の保管場所として活動が続けてきたものの、事務局としての機能に乏しく、活動をスムーズに進めることに難しさを感じていました。

プラザの事務室を使用することで、スタッフが常集まる場所ができ、情報交換、物資管理など宮城県における支援活動がスムーズに行えるようになります。また、大きな弱点だった情報収集・発信の拠点としての機能にも期待がきます。「団体の周知と運営サポートの充実、現地団体との交流作りを力を入れることが、活動を支援地域に根付かせるために欠かせません」と高橋さんはプラザを拠点とする今後の展望を話します。

アーツフォーホープはプラザを宮城チームの事務局として体制を整えながら、プラザでの三年間を足掛けに、この先五年十年が経った時にも、宮城県に必要とされるような団体の在り方を模索していきます。

ARTS for HOPE (アーツフォーホープ)

- TEL : 03-3280-7155
- FAX : 03-3280-7156
- E-mail : artsforhope@gmail.com
- URL : <http://artsforhope.info/>

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者：(特活)杜の伝言板ゆるる)

TEL : 022-256-0505 FAX : 022-256-0533

E-mail : npo@miyagi-npo.gr.jp

平成25年度 子育て家庭支援団体に対する助成活動

- 助成対象：次の要件をすべて満たす活動
 - (1)就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)に対し支援を行う活動
 - (2)利用者を限定せず、地域の保護者等の参加が可能な活動
 - (3)日本国内で行う活動
 ※継続活動、新規活動のどちらも可
- 対象団体：日本国内において、就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)への支援活動を行っている、1年以上の活動実績を有する民間非営利の団体、ボランティアグループ、NPO 法人等
 ※NPO法人以外の法人格を有する団体(社団法人、財団法人、社会福祉法人等)は対象外
- 対象期間：平成25年10月～平成26年9月
- 助成金額：1団体当り上限額25万円(助成総額最大1,400万円)
- 募集締切：4月30日(火) 消印有効
- 連絡先：社団法人生命保険協会
広報部内「子育て家庭支援活動」事務局
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル3階
TEL：03-3286-2643 FAX：03-3286-2730
URL：http://www.seiho.or.jp/

平成25年度 キリン・子ども「力(ちから)」応援事業 キリン・シルバー「力(ちから)」応援事業

- 【キリン・子ども「力(ちから)」応援事業】
- 助成対象：子どもたち自らの力を引き出すことを目的に、子どもの発想から生まれ、子どもが主体となって実施する活動
- 対象団体：18歳以下のメンバーが中心となって活動する4人以上のサークル、グループ
- 助成金額：1団体あたりの上限額15万円
- 【キリン・シルバー「力(ちから)」応援事業】
- 助成対象：高齢者が地域のために、その知識・技術・経験を活用するグループによるボランティア活動
- 対象団体：65歳以上のメンバーが中心となって活動する4人以上のグループ(メンバーの半数以上が65歳以上であり、なおかつ活動の中心となっている4人以上のメンバーが65歳以上であること)
- 助成金額：1団体あたりの上限額30万円
- 【共通事項】
- 助成金総額：上記2つの公募を合算して総額1,700万円
- 助成期間：平成25年7月～平成26年3月に行われる活動
- 募集締切：4月30日(火) 当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人 キリン福祉財団(千葉、栃内(とちない)まで)
〒104-8288 東京都中央区新川2-10-1 キリン本社ビル
TEL：03-5540-3522 FAX：03-5540-3525
E-mail：fukushizaidan@kirin.co.jp

第8回 東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド(GBFund)

- 助成対象：1)被災者・被災地を応援する目的で行われる芸術・文化活動(表現方法・形態は不問)
2)被災地の有形無形の文化資源を再生していく活動
3)その他、当ファンドの目的に合致すると判断される活動
 ※被災地での実施の有無は不問
- 対象団体：アーティストや芸術団体などの文化関係者に限らず、芸術愛好家や地域の伝統芸能の担い手など幅広い芸術・文化活動を行う市民・団体も対象とします

- 助成金額：原則上限50万円
 ※他の助成金等との併願も可能
 ※同一の団体・活動に対し、継続的に支援する場合もあります
- 応募方法：所定の申請書類でご応募ください。下記アドレスより、ダウンロードできます。 <http://gbfund.jp/>
- 募集締切：5月10日(金)
- 連絡先：公益社団法人企業メセナ協議会
〒108-0014 東京都港区芝5-3-2 アイゼンビル8階
「芸術・文化による震災復興支援ファンド」係
TEL：03-5439-4520 FAX：03-5439-4521
E-mail：gbfund@mecenat.or.jp

2013年度 富士フィルム・グリーンファンド助成

- 助成対象：日本国内で行われる、営利を目的としない以下の活動・研究
 ・自然環境保全もしくは自然とのふれあい活動
 ・身近な自然環境保全のための調査研究もしくは自然とのふれあいを促進するための調査研究
- 対象団体：上記活動及び研究の実績があり、発展的な活動や研究を行う団体・個人
 ※要件の詳細は要項をご確認ください
- 助成金額：申請内容や助成金の使途を踏まえて査定し、助成金を決定(件数は4件程度、助成総額は850万円)
- 助成期間：助成金贈呈日(2013年8月)より1年
 ※内容によっては2年に渡って利用することも可能
- 募集締切：5月10日(金) 消印有効
- 連絡先：公益信託 富士フィルム・グリーンファンド事務局
〒110-8676 東京都台東区下谷3-10-10
一般財団法人自然環境研究センター内
TEL：03-5824-0960 FAX：03-5824-0961

国際交流事業等助成金(平成25年度第2回)

- 助成対象：営利等を目的としない次に掲げる事業
 - 1)県内で開催する、外国人と地域住民との友好交流事業や、地域住民の国際理解を深めるための普及啓発事業等
 - 2)外国において、本県の優れた文化等を紹介し、外国人と交流を図る事業
 - 3)開発途上国等の地域住民に対して行う各種の協力・支援事業
 - 4)その他、地域の国際交流・協力の推進に寄与すると認められる事業
- 対象団体：1)団体の運営に必要な事項について定めがあり、原則1年以上の活動実績がある団体
2)県外に主たる事務所を有し、県内ではその支部組織等が活動している国際交流団体等で、支部組織等の運営に必要な事項について定めがあり、かつ1年以上の活動実績があるもの
- 助成金額：1件あたり上限25万円
 ※助成対象経費額により異なります
- 助成期間：7月1日～9月30日に開始する事業
- 募集締切：5月10日(金)
- 連絡先：公益財団法人宮城県国際化協会 企画事業課
〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL：022-275-3796 FAX：022-272-5063
E-mail：mail@mia-miyagi.jp

TEL/FAX : 022-295-2910
E-mail : act53sendainakama@yahoo.co.jp
※問合せは毎週金曜日 10:00 ~ 15:30

★リユースマーケット出店者募集★

- ブース : 1シート(2x2m)
- 定員 : 50シート
- 参加費 : 2,000円
- 申込方法 : 代表者の住所・氏名・電話番号(当日も連絡可能な番号)、参加人数、販売品名を明記の上、往復ハガキまたはPCメール(携帯は不可)、FAXにて申込
- 申込締切 : 4月10日(水)
※販売品は家庭で不用になった品物中心に出店をお願いします
※商売がらみの販売や業者の方の出店は固くお断りします

4/29 第19回生き生きコンサートPART2 復興へ向けて

- 日時 : 4月29日(月) 15:00 ~ (開場14:30)
- 場所 : 仙台市青年文化センター コンサートホール
- 内容 : ★第1部
・ミュージカルファンタジー「日本丸の復興」
・中原中也歌曲・合唱
★第2部
・二代目高橋竹山氏演奏(ピアノ:小田朋美氏)
- 参加費 : 大人2,000円、学生1,000円(※幼児:無料)
- 申込方法 : チケットは下記連絡先までお問い合わせください
- 主催 : NPO法人 創る村
- 連絡先 : 〒981-0413 東松島市新東名4-6-1
TEL : 0225-88-3793 FAX : 0225-88-4118
E-mail : tsukurumura@ybb.ne.jp

5/4 第6回 一箱古本市~定禅寺ブックス トリート店主募集

1日だけの古本屋店主になりませんか。5月4日(祝)みどりの日、春の空、萌え始めるけやきの下で開催します。おひとり、グループで、ご家族で、1箱分の古本を持って出展参加ください。

- 開催日 : 5月4日(土) 10:00 ~ 15:00
※雨天の場合は5月5日(日・祝)に延期
- 場所 : 定禅寺通り 緑の回廊
- 販売 : フリーマーケット形式、各店主1箱ごとの会計
- 応募条件 : 18歳以上
- 参加費 : 1シート(180x90cm)1,500円
- 申込方法 : 所定の申込書に記入の上、郵送、FAX、メールにて申込

※申込と同時に、別途ご案内の口座まで参加費を振込(4月20日(土)まで)

- 申込締切 : 4月15日(月)
- 主催 : あったか ころねと「一箱古本市~定禅寺ブックストリート」実行委員会
- 連絡先 : 〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-4-5
クライスビル3階
TEL/FAX : 022-211-4020
E-mail : attakakokoronet@yahoo.co.jp
URL : <http://www.attakakokoro.net>

5/5 第3回 みんなの夢をのせて 「走れ!仙石線」

東松島市東名・野蒜地域は、東日本大震災の津波によって、通学・通勤の大切な足「仙石線」が失われました。震災後、元の場所で再建して頑張っている方、高台移転に向けて一歩ずつ前進している方々がいます。1日でも早く、仙石線の全線復活が待たれます。そこで、今回地域の子供たちの笑顔を取り戻し、地域の人たちが、これからについて話せる交流の場を開きます。

- 日時 : 5月5日(日) 10:00 ~
- 場所 : 東名地区ふれあいセンター
(東松島市新東名二丁目5番地1)
- 内容 : 地域のみんで、ゆったりのんびり楽しみましょう。
屋台ブース、子供ひろばもあります。
- 申込方法 : 不要(直接お越しください)
- 主催 : NPO法人のんびりすみちゃんの家
- 連絡先 : NPO法人のんびりすみちゃんの家(伊藤)
〒981-0413 宮城県東松島市新東名4-11-14
TEL : 0225-88-2691

5/8 フラワーセラピーショップ キャロブラン仙台

フラワーセラピー研究会のアンテナショップです。活動の啓蒙普及と、会員の活動サポートを目的としています。主にオーストラリアのワイルドフラワー(プリザーブ加工された野生の草花)とリースやかご、リボン等フラワーアレンジメントに必要なグッズを販売します。また、出店期間中、「花遊び空間(フラワーセラピー教室)」を開催します。

- 日時 : 5月8日(水)~5月14日(火) 10:00 ~ 15:00
※5月13日(月)はお休み
- 場所 : みやぎNPOプラザ 短期ショップスペース
- 参加費 : 「花遊び空間」2,000円(花材費)
- 主催 : フラワーセラピー研究会仙台
- 連絡先 : TEL : 090-9428-4342(上野)

情報をお待ちしています

- 申込方法 : 問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切 : 毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail: npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

●連絡先：事務局(担当：原河)
〒989-3125 仙台市青葉区下愛子字観音堂5
広瀬市民センター
TEL：022-392-8405 FAX：022-392-8410
E-mail：hirose@stks.city.sendai.jp

4/21 歩いて 巡る歴史散策 仙台三十三観音堂巡り

.....
仙台市内にも在りました「三十三観音」。
江戸時代、伊達家四代藩主綱村公が選定したといわれ昭和中期頃まで多くの人が訪ね歩き盛んに行われていたと言います。参加者の皆様、それぞれの思いを胸にのんびりと歩く歴史散策に参加していただけたらと願います。

●日時：＜4月21日(日)＞第三行程：26番～33番札所
・集合：(1)JR南仙台駅前1番バス乗り場前
8:00集合
(2)第31番札所「落合観音堂(四朗丸)」内
8:45集合 9:00出発
＜5月19日(日)＞第一行程：1番～11番札所
・集合：宮城県美術館駐車場前
8:45集合 9:00出発
＜6月16日(日)＞第二行程：12番～25番札所
・集合：みやぎNPOプラザ/みやぎ婦人会館前(榴岡)
8:45集合 9:00出発
●参加費：各2,500円(会員：各2,000円)
●申込方法：下記連絡先まで申込
●主催：NPO法人 楽遊ネットワーク宮城
●連絡先：〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目7-30
角川ビル6F
TEL：022-261-9869 FAX：022-261-0546
E-mail：eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp
URL：http://www9.ocn.ne.jp/~eikaiwa/rakuyuu.html

4/25 介護1日講座

.....
介護実習等を通して、介護の基本的な知識・技術を1日で学びます。

●日時：4月25日(木) 10:00～15:30
●場所：仙台市シルバーセンター 6F 第2研修室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
●内容：★介護保険と福祉サービス
★介護保険と福祉用具
★清潔介護と床ずれ予防
●定員：40名
●参加費：500円(介護テキスト代、希望者のみ)

●対象：仙台市内にお住まいかお勤めの方
●申込方法：下記連絡先まで電話またはFAXにて申込
※FAX送信内容：(1)講座名、(2)氏名、(3)電話番号
●主催：公益財団法人 仙台市健康福祉事業団
●連絡先：公益財団法人 仙台市健康福祉事業団 介護研修室
(仙台市シルバーセンター内)
〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-3-2
TEL：022-215-3711 FAX：022-215-3718

4/27 お魚がきっと好きになる料理教室 ～食べてはじめる海の応援～ 「春のめぐみをいただきます きょうはホタテの日」

.....
お魚を食べて水産業の復興を応援しよう！旬の海の幸を使った料理を作ります。「どんなお魚が並んでいるのかな…」売り場探索など、楽しく学び、お魚大好きになろう！

●日時：4月27日(土) 10:30～14:00
●場所：みやぎ生協幸町店 調理室(仙台市宮城野区大槻)
●メニュー：★ホタテカレー ★ホタテサラダ
★ホタテスープ ★パバロア
●対象：幼稚園・小学校の親子
※託児はありませんので、幼児の参加はできません
●定員：12組(30名まで)
●参加費：1組1,500円(1名追加につき700円プラス)
●申込方法：住所、電話番号、保護者氏名、こども氏名・学年(年齢)、メンバーコード、「お魚がきっと好きになる料理教室」と明記し、下記連絡先までハガキ、FAX、メールにて申込ください
●申込締切：4月18日(木)
●主催：食育NPO「おむすび」
●連絡先：食育NPO「おむすび」(清水)
E-mail：tomokoomusubi0222@yahoo.co.jp
みやぎ生協生活文化部「食の活動事務局」(野口・片方)
〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2
FAX：022-218-3663

4/28 第44回“もったいない市”

.....
ご家庭の不用品を楽しく販売！(リユースマーケット)不用の衣類やシーツ・タオルなどお持ちください。ふるしきや毛糸も集めています。(古布の山コーナー)

●日時：4月28日(日) 10:00～14:00 ※雨天中止
●場所：勾当台公園 市民広場
●主催：ACT53仙台
●連絡先：〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-5
コーポラス島田A-105

杜の伝言板

ゆるるるに

協賛広告を

載せてみませんか？

月刊ゆるるるは県内全域を対象に10,000部を発行しています。

この誌面を貴社・貴団体の広告ツールとして利用してみませんか？

サイズ(横×縦、単位:mm)	協賛金	
50×180 掲載箇所:p.10～p.15	市民活動団体 (NPO法人含む)	10,000円
	上記以外 (企業、自治体など)	30,000円
100×180 掲載箇所:裏表紙	一律	50,000円

※上記料金は作成済み広告データを持ち込んだ場合のものとなります

- 場 所：みやぎNPOプラザ 第1会議室
 ●内 容：★講演(18:30～19:30)
 講演者：松尾久美氏(マレットファン(夢のたね))
 ★質疑応答(19:30～20:00)
 ★懇親会(20:00～20:30)
 ※タイのお茶とお菓子をご用意いたします
 ★当日、『織り人(Orijin)』によるアジアのフェア
 トレード雑貨を、会場にて販売
 ※売り上げの一部は「マレットファン」を通して
 タイの子どもたちのための活動に充てられ
 ます(みやぎNPOプラザでは、『織り人』
 短期ショップを4月11日(木)～17日(水)の
 間オープン(11:00～17:00、最終日は～
 15:00、15日(月)を除く)
 ●参 加 費：200円
 ●申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
 ●申込締切：4月15日(月) ※当日参加も可能です
 ●主 催：マレットファン日本のたね
 ●連 絡 先：E-mail：info@maletfan.org
 URL：http://maletfan.org

4/16 障がい者グラフィティ vol.16 ～「あたりまえ」を諦めない～

あの日からもう2年。スペシャル・ニーズの方々の災害時の
 生活の在り様と向き合う日々は、「常日頃」からの生活の安心
 を築くことだと確認する日々でした。「自閉症/発達障害」で
 あったとしても、そうでなかったとしても、「あたりまえ」に
 「あったらいいな」と願うことを叶える日々の実現に、なお一
 層想いを深くしています。「あたりまえを諦めない」先に何が
 叶うのか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

- 日 時：4月16日(火) 14:00～15:30
 ●場 所：せんだいメディアテーク 7階スタジオa
 ●ホ ス ト：伊藤清市氏(NPO法人ゆにふりみやぎ代表)
 及川智氏(CILたすけっと代表、被災地障がい者
 センターみやぎ代表)
 ●ゲ ス ト：伊藤あづさ氏(一般社団法人 ぶれいん・ゆに～
 くす代表理事、臨床発達心理士)
 ●参 加 費：無料(スタジオ観覧可)
 ●申込方法：不要。直接お越しください
 ●主 催：NPO法人ゆにふりみやぎ、CILたすけっと、せ
 んだいメディアテーク
 ●協 力：被災地障がい者センターみやぎ
 ●連 絡 先：NPO法人ゆにふりみやぎ

TEL/FAX：022-293-9505
 E-mail：ufmiyagi@gmail.com

4/18 NPO法人の決算書作成講座

平成24年度から収支計算書は「活動計算書」に変わりました。
 でも、「どう作ればいいかわからない」「管理費と事業費の区
 分って?」「注記って?」などなど、不安はありませんか?
 NPO会計に詳しい講師から、NPO法人会計基準に沿った財
 務諸表の作り方を学び、今度の総会は、市民にとってわか
 りやすい決算書で臨みましょう。

- 日 時：4月18日(木) 13:00～16:00
 ●場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
 ●講 師：成田由香里さん(税理士、公認会計士)
 ●対 象：NPO・市民活動団体の代表、会計担当者など
 ●定 員：20名
 ●資 料 代：1,000円
 ●持 ち 物：年度末締め決算書類
 ●主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
 ●連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

4/20 「関山街道フォーラム」講演会 ～街道・仙山線・広瀬川がつなぐ絆 新たな仙山交流に向けて～

関山街道沿線には、自然、歴史、文化、風土などの豊かな地
 域資源があり、さまざまな活動・取り組みが行われていま
 す。そのような地域の魅力や活動内容等をもっと色々な方々
 に知ってもらいたい、また各団体間の情報の共有と相互交流
 により、絆を深められたら、そんな思いから「関山街道フォー
 ラム」講演会を昨年に引き続き開催いたします。

- 日 時：4月20日(土) 13:30～16:00
 ●場 所：広瀬市民センター(仙台市青葉区下愛子字観音堂5)
 ●内 容：★第1部 講話「仙山交流の楽しさ面白さ」
 講師：宮原育子氏(宮城大学事業構想学部 教授)
 ★第2部 活動事例紹介
 関山街道フォーラム協議会への参加団体から
 の活動内容等の紹介
 ●定 員：80名(先着順)
 ●参 加 費：無料
 ●申込方法：不要(直接会場へお越し下さい)
 ●主 催：関山街道フォーラム協議会

縦覧中

NPO法人の設立を新しく申請した団体			宮城県等所轄分2月11日～3月10日 仙台市所轄分2月11日～3月10日	
	団 体 名	所在地	活 動 内 容	受理日
宮城県等	ざおう森の回廊	刈田郡蔵王町	人材育成事業や自然環境の保護に関する事業を通じた、蔵王エリアを中心とする地域社会の活性化	2/27
	あすわ	気仙沼市	エコツーリズムの促進及び防災啓発、環境保全などの事業を通じた気仙沼地域の振興	2/28
	ウィメンズアイ	登米市	女性の社会参加の促進を通じた安心・安全な社会づくり	3/7
	わ	名取市	障害福祉サービス事業所の運営	3/8
仙台市	仙台グリーンケア研究会	青葉区	グリーンケアの啓発および普及に関わる事業、グリーンケアを実践する事業、グリーンケア・心のケアを実践する事業 等	2/21
	おりざの家	太白区	食育推進事業、家族支援事業	2/27
	STELA	宮城野区	再生エネルギーの賦存量調査とその普及促進に関わる事業、環境保全の啓蒙に関わるセミナー及びイベント事業 等	3/5
	日本・ネパール文化交流倶楽部	宮城野区	国際文化交流・普及事業、国際支援事業	3/8

宮城県の NPO法人数	703	団体 宮城県等所轄:315団体 仙台市所轄:388団体	※2013年 3月10日現在
----------------	-----	-----------------------------------	-------------------

NPO法人に認証された団体				宮城県等所轄分2月11日～3月10日 仙台市所轄分2月11日～3月10日
団体名	所在地	活動内容	認証日	
奏海の杜	登米市	障がい児・者などへの支援活動とおした、健全 で安全な地域社会の実現と地域振興への寄与	2/15	宮 城 県 等
地星社	岩沼市	市民活動に関する相談、コンサルティング及び 情報収集・情報提供	2/20	
オペレーション・プレジデント・ジャパン	黒川郡 富谷町	漁業の復興支援に関する事業及び家庭生活 支援のためのカウンセリング等に係る事業	2/28	
東松島市芸術文化振興会	東松島市	多様な芸術文化活動を展開し、芸術文化の振興を図る活動	2/28	
とめ市民活動フォーラム	登米市	多様な分野の市民活動やコミュニティ活動の支援	3/8	仙 台 市
ドラムカフェ	青葉区	参加型ドラミングによるスクール公演事業、参 加型ドラミングによる地域、施設公演事業、ド ラミングに関するイベントの企画開催事業等	2/25	
コ・クリエイションセンター	宮城野区	モニュメント建造物の共創事業、子供・親の教 育支援事業、被災者・支援者の交流事業	3/4	
シニアサロン井戸端会議	青葉区	地域コミュニティ形成に係る事業、事業創出及 び雇用創出に係る事業、健康増進に係る事業等	3/5	
日本災害対応住宅研究会	青葉区	調査研究事業、レポートや出版物等の発行事業、セ ミナーやワークショップ等イベントの企画・運営事業等	3/6	市
シュエット	青葉区	社会教育に関する講習会、講演会その他集 会を開催する事業、まちづくりに関する講習会、 講演会その他集会を開催する事業等	3/6	

す。通常は、オンラインショップのみの販売です。ぜひ、実際にお手にとってご覧ください。

※今回の販売期間中の売り上げの一部は、タイの教育支援NGO『マレットファン』を通じて、タイの子どもたちのための活動に充てられます。

- 日 時：4月11日(木)～17日(水)11:00～17:00
※15日休館、16日は、20:30まで販売、最終日は、15時まで
- 場 所：みやぎNPOプラザ 短期ショップスペース
- 主 催：マレットファン日本のたね
- 共 催：アジアのフェアトレード雑貨『織り人』
- 連 絡 先：アジアのフェアトレード雑貨『織り人』
E-mail：info@orijin.asia

4/13 ホントの国際語って ようこそ、エスペラントへ

.....
国や民族の違いにかかわらず、人と人が対等の立場で交流することができる国際共通語エスペラントをご存じですか？エスペラントを使って行っている様々な国際交流の様子をご紹介します。

- 日 時：4月13日(土) 13:30～15:30
- 場 所：仙台市民活動サポートセンター 研修室5
(仙台市青葉区1番町4-1-3)
- 説 明：仙台エスペラント会会員
- 内 容：★エスペラント語って？ ★どう使う？
★どう学ぶ？ ★話してみよう、聞いてみよう
★いろいろな本や雑誌 ★質問コーナーなど
- 参 加 費：無料
- 対 象：どなたでも
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
(当日直接来場も可)
- 主 催：仙台エスペラント会
〒980-8799 仙台中央郵便局 私書箱120号
TEL/FAX：022-376-5641
E-mail：esperanto@goo.jp

4/13 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

.....
ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛い気持ちを、静かに語り合います。「ここで聞いたことを他の人には話さない」と約束してから、始めますので、会の中で話されたことは、他に漏れることはありません。普段の生活の中ではなかなか話せないこと、ご遺族同士だからこそ分かり合える気持ちなど、安心して話しして頂くことができます。

- 日 時：各回14:00～16:30
★岩沼会場(毎月第2土曜日)
4月13日(土)、5月11日(土)
場所：岩沼市民会館 第2会議室
(岩沼市里の杜1-2-45)
★石巻会場(毎月第2日曜日)
4月14日(日)、5月12日(日)
場所：カリタスジャパン石巻ベース
(石巻市末広町3-14)
★仙台会場(毎月第3土曜日)
4月20日(土)、5月18日(土)
場所：仙台市民活動サポートセンター
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 対 象：大切な方を亡くされた方(死因は問いません)
- 参 加 費：無料

- 申込方法：不要

※託児をご希望の方は事前にお知らせください

- 主 催：仙台グリーフケア研究会
- 連 絡 先：TEL：070-5548-2186

4/14 不登校・高校中退・発達障害 教育支援セミナー&シンポジウム 学校復帰へ、私立通信制高校・サポ ート校の取組み

.....
宮城県は全国的にも不登校の児童・生徒が多い地域です。今回は、不登校から学校復帰へ向けた家庭、社会との関わりや、仙台における通信制高校の現状をご紹介します。また、シンポジウム終了後には通信制高校の先生による個別相談会を実施します。

- 日 時：4月14日(日)13:00～15:00
※個別相談会15:00～17:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 内 容：★基調講演「学校復帰へ、私立通信制高校の社会的役割」
講師：土佐昭一郎さん(NPO法人ミヤギユースセンター代表)
★シンポジウム「学校復帰へ、通信制高校の取組みから考える」
参加校：星槎国際高等学校仙台学習センター
第一学院高等学校仙台キャンパス
KTC中央高等学院仙台キャンパス
フリースクールだいと
- 参 加 費：無料(予約不要)
- 主 催：NPO法人ミヤギユースセンター
- 連 絡 先：〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-8-203
TEL：022-256-7977

4/16 親業セミナー「子どもの意欲どう伸ばす…」～新学期に向けて～

.....
子どものことをこんなに思っているのに、何故言うことを聞かないの？何度言ったらわかるの？など、日頃疑問や問題を感じていませんか？このセミナーでは、親と子のコミュニケーションをより良くし、子どもの考える力を伸ばす“ゴードン博士のコミュニケーション・メソッド”を紹介します。

- 日 時：4月16日(火) 10:00～11:45
- 場 所：エル・パーク仙台 141ビル5F
- 講 師：石田えみ子氏(PETフォーラム代表、親業訓練シニアインストラクター)
- 参 加 費：500円
- 主 催：PETフォーラム
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-281-0858
URL：<http://www.k3.dion.ne.jp/~smile55/index.html>

4/16 タイの教育支援NGO「マレットファン(夢のたね)」スタッフ講演会 なぜ、タイの子どもの瞳は輝いているの？ ～マレットファンを通して見えたもの～

.....
タイの教育支援NGO「マレットファン(夢のたね)」日本人スタッフの松尾久美が、急激に経済発展を遂げたタイの中で、その発展の影にいる子どもたちの存在、そして子どもたちとの出会いから気づいたことをお話しします。

- 日 時：4月16日(火) 18:30～20:30

※要予約。相談時間は1団体約1時間

- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

イベント

4/2 かぞくのかたち～福島を離れて、みつめたもの～ 神野さん一家の場合

『一緒に過ごしたかった。そう言って泣いてくれるあなたは、最高のお父さん』
福島と山形、バラバラになった「かぞくのかたち」現状と想いを、短い言葉を添えて伝える写真展です。

- 日 時：4月2日(火)～4月14日(日) 9:30～17:00
※4/8、4/15は休館日
- 場 所：仙台市子育てふれあいプラザのびすく仙台
(仙台市青葉区中央2-10-24 仙台市ガス局ショールーム3階)
- 参 加 費：無料 来館時に受付をお願いします
- 主 催：ままふあ会
- 連 絡 先：E-mail: mamafuasendai@yahoo.co.jp
URL: http://blogs.yahoo.co.jp/mamafuasendai/

4/2 うーん?分かった!といえるパソコン講座

「さあこれからパソコンを使ってみよう!」「パソコンを使っているけどちょっと?」
パソコンを使うと思わぬところで・・・
そのような方向けに、毎週開催しているパソコン講座です!

※申込なしの飛び込み参加受付しています。

- 日 時：4月2、9、16、23日 毎週火曜日13:00～15:00
※4月30日(火)は休講
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 参 加 費：1,000円(1回につき)
※悪天候や会場予約状況によっては変更する場合があります。
ご心配の方は事前にお問い合わせの上、申し込みください。
- 主 催：NPO法人ばざーる太白社会事業センター
(略称ビートスイッチ)
- 連 絡 先：ご不明な点がある場合はお電話、または、FAX
でお問い合わせください。
TEL: 070-5320-8928 / 022-292-7160
FAX: 022-292-7162

4/6 第8回 かたくり祭

カタクリの花は朝晩や雨の日は閉じており、晴れた日中、気温が上がるにつれてゆっくりと開いてきます。大國神社山野草公園の2つの群生地を合わせると2km程の起伏あるコースです。運動靴でどうぞ。野生動植物保護のため犬などペットを連れての入園はできません。

- 日 時：4月6日(土)～開花期間中開催
(開園時間 9:00～16:00)
- 場 所：大國神社山野草公園
(仙台市青葉区芋沢字末坂27-14)
- 参 加 費：無料
- そ の 他：★第6回俳句コンテスト作品募集(山野草部門・神社部門・環境エコ部門)
公園内各所で俳句作品をご応募ください(参加無料、どなたでも投句できます)
募集期間：4月6日(土)～5月31日(金)
★授産品販売予定
開催期間中の週末等には手作りクッキーや水耕栽培野菜、佃煮、工芸品等の販売を予定
- 主 催：大國神社の山野草を守る会
- 連 絡 先：〒989-3212 仙台市青葉区芋沢字末坂27-14
TEL: 022-394-2724 FAX: 022-394-2725

4/11 講座「仙台・歴史アラカルト」 ～大崎葛西一揆と伊達政宗の花押～

大崎葛西一揆を巡る秀吉への対応から政宗像をさぐります。

- 日 時：4月11日(木) 10:30～12:00
- 場 所：サロンわい・わい一番町(仙台市青葉区一番町2-5-12)
- 講 師：遠藤勝目氏(「ぐるーぷ・よっこより」代表)
- 参 加 費：一般1,000円/会員700円(資料代を含む)
- 申込方法：下記連絡先までご連絡ください
- 申込締切：開講日の1週間前まで
- 主 催：NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台
- 連 絡 先：シニアセンター「サロンわい・わい一番町」
TEL/FAX: 022-217-0101

4/11 アジアのフェアトレード雑貨『織り人』 短期ショップ

アジアの中には、多くの民族が暮らし、それぞれの独特で美しい文化が育まれています。
『織り人』では、代々民族に受け継がれてきた、伝統の刺繍や織りの技術をいかしたフェアトレード雑貨を販売しています。

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2013.3.16現在)敬称略

- 正会員 50名
- 賛助会員 91名

★仙台市 ●齋藤ツメ ●リンデンバウム 岩手次男

昨年度寄付・協賛を頂いた方々 (2012.4.1～2013.3.16)敬称略

- ★仙台市 ●梅森収 ●木村さち子 ●宮内昭穂
●大國神社の山野草を守る会 横尾匡彦
●福田内科クリニック 福田陽一
- ★三重県 ●積和建設中部株式会社 三重支店
- ★京都府 ●岡本昌也
- ★福岡県 ●吉富まゆみ
- ★アメリカ合衆国 INTEL FOUNDATION (インテル財団)

会 員 募 集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

- 会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	3,000円
賛助会員NPO	5,000円
賛助会員企業・団体	20,000円

information

3月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

E-mail : info@totteokino-ongakusai.jp
URL : http://totteokino-ongakusai.jp/

情報紙発送作業 ボランティア募集

年5回発行しているMELON情報紙の発送作業ボランティアです。MELONの活動を会員や行政や環境団体などに知らせする機会です。封入したりまとめたり単純作業ですが、人出が集まらないと結構きついの、ぜひお手伝いをお願いします！

- 日時：4月18日(木) 10:00～17:00
※時間内であれば何時間でもOK
- 場所：MELON事務局(下記連絡先参照)
- 活動内容：MELON情報紙4月号の発送作業です。
封筒にラベルを貼ったり、情報紙を封入したり。
※MELON会員の方は、ボランティアにご協力
いただくと1回1ポイントが付きます
5ポイント溜めると1000円分の商品券を差し
上げます
- 持ち物：昼食
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
- 募集主体：公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
- 連絡先：〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
フォレスト仙台5F
TEL : 022-276-5118 FAX : 022-219-5713
E-mail : melon@miyagi.jp
URL : http://www.melon.or.jp/

とっておきの音楽祭 実行委員&ボランティア募集!

とっておきの音楽祭は、障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽のチカラで「心のバリアフリー」を目指す音楽祭です。現在、6月2日の開催に向け、音楽祭を一緒に創っていく仲間を募集しています！

- 開催日：6月2日(日) 10:30～19:00(予定)
- 活動内容：★実行委員
音楽祭開催に向けた企画・準備など、通年で活動しています
音楽やお祭りが大好きな方、企画するのが得意な方などを募集しています
★ボランティア
音楽祭当日、運営のお手伝いをご協力いただける方を募集しています
ステージ運営、手話通訳、ECOリサイクル活動など
- 事前説明会：日時:4月15日(月) 19:30～
会場:仙台市市民活動サポートセンター 4階
研修室5(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
- 募集主体：とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI
- 連絡先：〒980-0014 仙台市青葉区本町2-9-3
第3産仲ビル6階
TEL : 022-265-0980 FAX : 022-716-5717

事業案内

グラフィックデザイナー、ライター、ウェブデザイナー 講座・研修会に講師を派遣します。

広報のための、デザイン・レイアウトの基礎を知っていれば、読みやすく親しみやすい情報発信が可能です。
講座では、チラシやニュースレター他あらゆる印刷物が、より効果的に意図がしっかり伝わり、美しくレイアウトされたものにするために必要なデザインレイアウトの基礎、情報発信に役立つプロの技術を教えています。
相談にも対応しておりますので、お気軽にお声掛けください。

- 講座内容：★印刷デザイン・広報・カラーユニバーサルデザイン
講師：真山正太氏(グラフィックデザイナー)
★出版・編集・文章作成
講師：大泉浩一氏(編集者、ライター)
★プレゼンテーション・ホームページ・電子出版
講師：伊東利光氏(メディアクリエイター)
★パソコン活用
講師：千葉浩二氏(講座・ワークショップ等
イベントマネージャー)
- 申込方法：電話、メールにてお問い合わせください
- 主催：一般社団法人メディアデザイン
- 連絡先：〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-1-11
朝日プラザ北一番丁1階
TEL : 090-3049-0613 FAX : 022-224-5308
E-mail : sendai@mediadesign.jp
URL : http://www.mediadesign.jp/

NPOのための雇用なんでも相談

NPOの雇用手続き全般から、就業規則の作成や見直し、職場環境・人間関係の問題まで、雇用に関することをご相談下さい。

- 日時：4月11日(木) 13:00～17:00
- 場所：みやぎNPOプラザ
- 定員：3団体(先着順) ※要予約。
相談時間は1団体約1時間
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

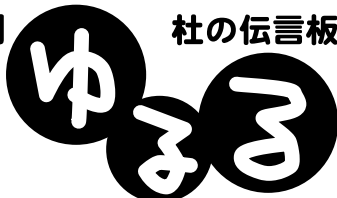
NPOのための会計・税務相談

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日時：4月26日(金) 13:00～17:00
- 場所：みやぎNPOプラザ
- 定員：3団体(先着順)

月刊

杜の伝言板



の発行を支えてください!

月刊杜の伝言板ゆるるは1997年の創刊以来、毎月宮城県の市民活動情報を掲載し、市民・企業・行政・NPOをつなぐ情報誌として活用されてきました。ただ、私たちは資金面・人材面とも潤沢とは言えません。そこで、県内の市民活動をより盛り上げていくため、あなたの力をお貸しください!

支える①

賛助会員として

『ゆるる』の発行は皆様から頂いている会費で支えられています。これからも皆様の温かいお力添えをお願い申し上げます。

(会員登録についてはP14をご参照ください)

支える②

ボランティアとして

『ゆるる』の発行部数は毎月10000部! 発送時にかかる労力は1つのイベント並です。ゆるるでは発送のお手伝いをしてくれるボランティアさんを随時歓迎しています。



みやぎNPOナビ 2013年3月 OPEN!!

<http://www.miyagi-nponavi.jp/>

県内のNPOを知りたい!! に応える新サイト

みやぎNPOナビは、仙台市、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター、NPO法人杜の伝言板ゆるるの3団体が協働で開設した市民活動団体情報検索サイトです。県内のNPO・市民活動団体を地域別・分野別に、また団体名やキーワードからでも検索することができ、それぞれのNPOが持っているホームページやブログなどへのリンクもあります。

登録団体募集中!

みやぎNPOナビでは、登録団体を募集しています。登録できるのは、宮城県内に事務所があり、営利を目的とせず社会的・公益的活動を行う民間団体(NPO法人、公益社団法人、一部の一般社団法人・任意団体など)です。登録はサイトから受け付けていますので、詳しくは、ぜひ、サイトをご覧ください。



みやぎNPO情報公開システム運用協議会

- 事務局 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
- 宮城県仙台市宮城野区榴岡3-11-6
コーポラス島田B-6
- TEL 022-791-9323 ●FAX 022-791-9327
- E-mail info@miyagi-nponavi.jp